



▼▲中庭テラスイルミネーションと取り付け作業風景



“冬の大学でなにか楽しいイベントはできないか…”裏方団体CBO(※)の学生たちと後援会と一緒に企画して、「中庭テラスイルミネーションプロジェクト」が動き出しました。

カフェテラス横の中庭テラスにイルミネーションを取り付け、寒くて暗い冬の大学をひととき、明るく楽しくなる空間に飾り付けました。イルミネーションに気づいた学生たちからは歓声が上がリ、ちょっぴり“インスタ映え”した中庭を撮影する姿が見られました。

今回の中庭テラスのイルミネーションは1月末で終了しましたが、学生たちは、みんなが笑顔になるこのイベントを、来年はさらにバージョンアップしようと今から思いをめぐらしています。

後援会は学生たちと共に、これからも大学が楽しく明るくなるようなイベントを企画、サポートしていきます。

(※裏方団体CBOとは大学で開催されるイベントの音響、照明等を技術的にサポートする課外活動団体です。)

CONTENTS

県大ニュース
「中庭テラスイルミネーション」…………… 1

課外活動レポート
「第24回湖風祭」…………… 2
「鳥人間コンテスト出場報告」、
「第2回学長杯争奪カロム大会」…………… 3

キャンパスライフ
「学生食堂・ショップ紹介」…………… 4-5

ボランティア報告、災害時に備えて…………… 6

就職日より
就職支援、保護者向け就職説明会…………… 7
インターンシップ報告、
公務員試験対策講座のご案内…………… 8
就職内定者インタビュー…………… 9

事務局からのお知らせ…………… 10-12



第24回
湖風祭 Festival



昨年の11月17日(土)・18日(日)に第24回湖風祭が開催されました。開催日直前まで雨天の心配がありましたが、当日は何とか持ちなおし、無事湖風祭を開催することができました。老若男女問わずたくさんの方々にご来場いただき、会場全体で大いに盛り上がることができました。湖風祭にご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

私たちは環境に配慮した大学祭を目指して活動しています。今回も割り箸ゴミの削減を目指した活動「Myはし推進運動・はしレンタル」を行いました。その結果、2910膳の割り箸ゴミを削減することができました。また、洗って再利用できるお皿やコップを模擬店で使用し、ゴミを削減するDRP(Dish Return Project)活動では7223枚のお皿やコップのゴミを削減することができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

湖風祭は県大の学生や大学関係者の方々、地域の方々、ご来場いただきました皆様など、関わってくださったすべての方々がいて初めて完成するお祭りです。こうして湖風祭を通して皆様とつながりを持てたことは、私の中で、大きな財産となりました。心より感謝申し上げます。

来年度に開催されます第22回湖風夏祭と第25回湖風祭にもぜひお越しください。また皆様の笑顔が見られるのを実行委員一同楽しみにしています。これからも湖風祭実行委員会をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、昨年7月の学生懇談会で要望をさせていただきました模擬店用の折りたたみ機の買い替えを、後援会からの助成で実現することができました。長く、大切に使用していきます。ありがとうございました。



滋賀県立大学湖風祭実行委員会
第24代目実行委員長
吉田直人

第41回 鳥人間コンテスト 出場報告



いつも航空研究会UAfg(ユーファ)を応援いただきありがとうございます。昨年に引き続き2年連続で鳥人間コンテストに出場することができました。

大会当日は、台風の影響で風が強く、開催自体が危ぶまれていましたが、無事にフライトを終えることができました。機体は、昨年の反省を踏まえ再設計しておりチームとしても大きく期待しておりましたが、結果は18.83mでした。

今回の結果については、まだまだ機体自体に他チームに及ばない点があることや、強い風のある中でのフライト練習が不足していた点があげられると思います。

今後は、これらの反省を活かして機体製作・運営を行い、次の大会では大きく飛距離を伸ばせるよう活動を行っていきたいと思います。

今後とも航空研究会UAfgをよろしくお願いいたします。

滋賀県立大学 航空研究会UAfg
江越 啓太



第2回学長杯争奪 カロム大会

昨年の9月26日(水)に第2回学長杯争奪カロム大会が開催されました。カロムは、滋賀県の彦根地域で老若男女に親しまれているボードゲームです。指で弾いて自分の色の駒を先に四隅のポケットに全て入れた方が勝ちというゲームです。

今年は、昨年よりも多い15組30名がエントリーし、予選リーグと決勝トーナメントで戦いました。あるチームは貸出用カロムで練習を重ね、あるチームは戦術を考えるなど昨年以上にレベルアップした戦いが繰り広げられましたが、激戦の末、昨年の優勝チームである「かきもち」の谷垣さんと尾本さんが優勝を勝ち取りました。決勝は「カロム日本選手権」で使用されている“黄金のカロム台”を使用して行われ、優勝チームには、廣川学長より優勝杯(学長杯)と賞状、副賞などが贈られました。

後援会ではカロム盤を2台購入し、学生に貸し出しています。今後も地元遊び「カロム」で県大が盛り上がっていくことを楽しみにしています。



キャンパスライフ



カフェテリア

カフェテリアは席数が約650席あり、大学で一番広い食堂です。学内で唯一、夕食時間も営業しています。メニューは種類が豊富で、麺類やカレー、焼き立てパン、デザートなども充実しています。季節によって様々な限定メニューも登場します。

営業時間

11:00～14:00 / 18:00～20:00

*試験期間・休業期間は営業時間が異なることがあります。

みんなでランチ♪



学長のお気に入り
カレーだそう♪



廣川学長(左)もいつも
カフェテリアを
利用されています。

季節限定!
北海道フェアの十勝風豚丼



ナシェリア

看護棟にあるナシェリアは席数約120席で看護学生が多く利用します。オリジナルメニューやサラダバーがあり、アイスやお菓子コーナーも人気です。

営業時間

11:00～14:00

(お菓子コーナーは15:00まで)

*試験期間・休業期間中は営業時間が異なることがあります。



鍋焼きうどんは
ナシェリアだけの
冬メニュー!

人気のサラダバー



お菓子コーナー



スタッフの皆さん

県大ミニアルバム

テーマは「モノクローム」です



「えんびつ塔」
児玉 柚香



「明暗」
原 可那恵



「夜の体育館」
児玉 柚香

食堂やショップについてご紹介します。

English teacher's lunch time!



明るいスタッフのお二人



バランスよく食事ができるので
日替わり定食を頼みます。



常連の福島さんと田内さん

ぴあにしも

交流センターの一角にある喫茶コーナー“ぴあにしも”。「おはよう!」「久しぶりやね。元気してた?」スタッフさんの明るい声が響きます。常連さんも多い“ぴあにしも”は食事だけでなくパフェやサンドイッチなど軽食メニューも充実しています。



営業時間

11:00~16:30

*試験期間・休業期間中は営業時間が異なることがあります。



教材や書籍、お菓子も充実



食堂やショップは一般の方も利用できます。
県大にお越しの際にはぜひ、学生気分
で体験してみてください♪

生協ショップ

大学で必要なものが揃います。文房具や書籍はもちろん、お弁当やお菓子、焼き立てパンも販売されています。バスの回数券の販売や自動車教習所の申し込みもできます。後援会が受験料の一部を助成している「TOEIC L/R公開テスト」の申し込みも取り扱っています。

営業時間

10:00~18:30

*試験期間・休業期間中は営業時間が異なることがあります。



種類豊富な
焼き立てパンも人気です



県大オリジナル
グッズコーナー

写真提供：滋賀県立大学写真部

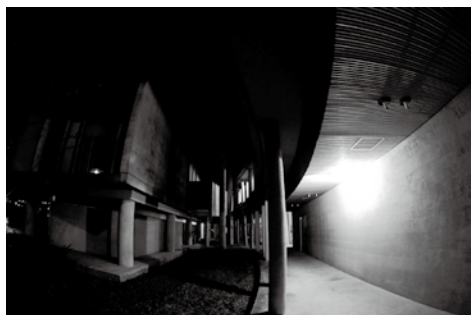
写真部インスタアカウント

<https://www.instagram.com/photousp/>

📷 スキャンして、
写真部インスタをチェック!



PHOTOUSP



「宵のB棟3部作」
杉浦 啓介

～東日本大震災ボランティア～宮城県田の浦

*田の浦と県大のつながり

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、環境建築デザイン学科の学生たちが支援先を探していたところ、様々な方を紹介していただいたのが、宮城県南三陸町歌津地区にある田の浦集落でした。学生たちは、「木興プロジェクト」という団体を結成し、津波で大破した田の浦の漁港に漁師小屋を建設しました。この活動がきっかけとなり、県大生が継続的に田の浦に入り様々な活動を行っています。ものづくりをする木興プロジェクトに加え、現地の田の浦ファンクラブ(2014年にNPO法人化)の復興まちづくり活動を支援する団体「田の浦ファンクラブ学生サポートチーム」、健康交流イベントを行う「未来看護塾」。活動を通して、私たちは自分の子どもや孫のように接してくれる田の浦のみなさんが好きになり、田の浦のみなさんとの関係性を大切にしつつ、自分たちにできることを考えながら活動しています。

学生の活動紹介

◆田の浦ファンクラブ学生サポートチーム 「海の大運動会」

地元のまちづくり団体「田の浦ファンクラブ」の学生サポートチームです。交流イベントの企画・運営や、月1回定期訪問をしたりしています。「海の大運動会」は交流イベントの中でも大規模なイベントです。6回目となる今年度は8月11日に開催し、地域内外から約200名の方にご参加いただきました。田の浦の海を活かして、様々な競技を行います。当日の様子を、南三陸町公式ブログ「南三陸なう」に掲載いただきました。ぜひご覧ください。



Tanoura_sST

tanourafc_student

田の浦ファンクラブ

検索

南三陸なう

検索

→動画「海の大運動会in田の浦」

◆木興プロジェクト 「神社の修繕」

木造建築の設計・施工による復興支援の団体です。2011年の「番屋」建設に始まり、「交流センター」、「キッチン」などを建設してきました。今年は、昨年に引き続き、「稲荷神社の修繕」を実施しました。既存の建物の修復のため、元々あった木材の腐朽や寸法のばらつきなどがあり、いままでの経験だけではうまくいかない難しさがありました。地元の大工さんにご指導いただいたり、住民の皆さんから差し入れをいただいたり、たくさんの方にご協力いただき、完成させることができました。



木興プロジェクト

検索

◆未来看護塾 「いきいき健康交流ひろば」

看護学生有志の団体で、地域の皆さんが「心も体も健康になる」イベントを開催しています。田の浦では「いきいき健康交流ひろば」とし、9回目の開催となりました。足浴や血圧測定、ハンドマッサージ、ちびっこ広場などを設け、地域の人と一緒に体操をしたり、まちあるきなどで交流したりし、田の浦の方々の笑顔を見ることができました。



未来看護塾

検索

未来看護塾PR動画は

未来看護塾について

検索

災害時に備えて

滋賀県立大学では、大規模災害発生時に備えて2017年度から5カ年計画で学生や教職員用に3,000人分の備蓄資材の整備を進めています。

備蓄資材としては1日分の飲料水や食料品に加え、簡易携帯トイレや簡易寝袋などがあり、食料品はアレルギー対策にも配慮したものとなっています。また、これらの資材は、迅速に一人一人に配布でき、持ち運びにも便利のようにリュック形式の袋に詰めて保管しています。この他に、簡易毛布も100枚用意しています。

救急用品セットや簡易担架、救助工具セットなども順次、学内各箇所に整備していく予定です。

[財務課 施設管理係]

1人1日分の
緊急時避難セットと
簡易毛布



就職担当から保護者の皆様へ

去る2018年10月9日に一般社団法人日本経済団体連合会が2020年度(2021年3月)以降の卒業・修了予定者に関する就職・採用活動日程等を規定する「採用選考に関する指針」の策定を行わないことを決定しました。このため、政府は「就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議」を設置し、2020年度卒業・修了予定者の就職・活動日程について、現行ルール(広報活動:3月1日以降、採用選考活動:6月1日以降、正式な内定日:10月1日以降)と同じとすることを決定しました。

本学教育の特色としては、低年次からの徹底した少人数教育により、コミュニケーション能力、問題解決能力、行動力などの社会人基礎力を養っています。また、野外でのフィールドワークや実験・実習を重視した授業で学んだ知識や技術を確かな実践力として身に付けています。この社会人基礎力および実践力を備えた人材が社会で活躍するためには、キャリア・職業観を形成し将来設計能力を育成することが必要であることから、本学では1年生の段階から計画的・体系的なキャリア教育の実施に取り組んでいます。

2021年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程については、今後、改めて決定されることとなりますが、就職活動ルールの変更が行われても、本学においては柔軟な対応を行い、学生が社会に力強く羽ばたいていけるように、計画的な教育・指導を引き続き実施していきたいと考えています。

最後に、就職活動中のお子様は、緊張とプレッシャーの連続で休む暇もありません。そのようなお子様を見ていると心配になり、親として何かと発言したくなるものですが、就職先の決定にあたってはお子様の意思を尊重していただきたいと思います。保護者の皆様の考えや意見を押し付けて内定を辞退したりすることのないよう、お子様自身の考えで就職先を選べるよう導いてあげてください。

[学生支援センター 就職担当]

保護者向け就職説明会を開催しました

去る10月20日(土)に本学交流センターにおいて、保護者を対象とした就職説明会を開催しました。本説明会は、最近の就職活動がエントリーシートや就職情報サイトの活用などにより、保護者世代の就職活動とは様変わりしてきている中で、学生の就職活動に対する保護者の理解と協力を得ることを目的に開催したもので、242名の保護者の方々にご参加いただきました。

本学の就職支援の状況についての説明に続き、本学の就活セミナーの講師をお願いしている一般社団法人キャリアラボ代表理事の松田剛典さんから「受かる力から探す力へ～これからの就職活動で必要になる力～」と題し講演をしていただきました。

その後の座談会では、就職活動を終えたばかりの内定者(現4回生4名)が登壇。「就職活動を振り返って」というテーマに基づき、松田さんの司会進行のもと、就職活動の進め方や、保護者のサポートの重要性など、実体験をふまえた生の声を聞かせてくれました。

引き続き学科別の個別相談会を開催し、10学科39名の保護者の方が学科教員と個別に相談されました。



▲職員による
就職支援状況の説明



▲熱心に聞き入る保護者の皆さん



▲講師の松田剛典さん



▲座談会に参加した4回生の皆さん

インターンシップ報告2018 将来を見据え自己を鍛える ～意義ある就業体験～

本年度も学部3回生と修士1回生を対象として、夏季休業中にインターンシップを実施しました。これは、就職活動を控えた学生が、職業観や勤労観を育成し、就労への意欲を高めるとともに、自己の適性についての認識をさらに深めることを目的としています。

本学と企業・団体等と覚書を締結して行う「協定型インターンシップ」には、53名が参加しました。この中には、COC+事業(本学と県内5大学、滋賀県、滋賀県産業界等との協働のもと滋賀県内就職率向上と雇用創出に取り組む教育プログラム)による8名も含まれています。

実習期間は、5日間20名、7・8日間3名、10日間22名、15日間8名でした。体験先は、市役所等の官公庁や製造業、小売業そしてサービス業と多岐にわたっています。

参加者は、4月のガイダンス、7月のマナー講座、直前研修を経て実習を行いました。また、事前レポート、実習日誌、事後レポートの提出が課せられています。10月には、インターンシップを振り返る報告会を学内で実施しました。そこでは、参加した学生がパワーポイントを使用して発表を行い、その後班別でインターンシップで学んだこと、「働く」ことの意義等についてディスカッションを行いました。学生からは、「仕事に対する責任の重さを感じた」「コミュニケーション能力を高める必要を感じた」等の感想が聞かれました。

業者が行う1-day、2-dayのインターンシップとは異なり、実際に働く体験をした学生たちは大きく成長したと感じました。

[学生支援センター インターンシップ担当]



マナー講座(7月)



実習の様相(9月)



報告会(10月)

公務員試験対策講座のご案内

本学では、毎年5月から翌3月まで主に3回生を対象に公務員試験対策のプロによる「公務員試験対策講座」を3コース開講しています。それぞれ有料ですが、受講者には後援会から助成金が交付されます。

地方上級・国家一般職コース(全224コマ)	教養科目対策コース(全94コマ)	専門科目対策コース(全146コマ)
[対象] 国家一般職・地方上級・国税専門官・市役所等の行政系職種を目指す方	[対象] 市役所(一般教養試験のみ)・技術職・福祉職・警察官・消防官を目指す方や、地方上級・国家公務員を目指す1・2年生の方	[対象] 地方上級・国家公務員の行政職を目指し、教養科目対策コースを既に受講された方
[内容] 公務員試験に必須の主要5科目の集中的なライブ講義とゼミの開講	[内容] 全ての公務員試験で最重要の数的処理を中心とする集中的なライブ講義	[内容] 地方上級・国家一般職コースより教養科目対策コースの講義を除いた内容
[受講料] ¥80,000 (税込・教材費・模擬試験込)	[受講料] ¥30,000 (税込・教材費・模擬試験込)	[受講料] ¥50,000 (税込・教材費・模擬試験込)
[助成金] ¥10,000	[助成金] ¥4,000	[助成金] ¥6,000

※どのコースもまず受講料全額をお支払いの後、後援会に申請し助成金を受け取ります。
(後援会費が未納の方は助成対象となりません。)

※コース内容および受講料、助成金額は2018年度の情報です。2019年度は変更になる可能性があります。

★本学の公務員試験合格者は増加傾向にあります。現状では、合格者が49名おり(11月26日現在)、内24名が行政・事務系職、25名が農業等の技術職や公安職です。

公務員試験合格者の半数以上である26名が講座受講生です。しかも、約1年間もある講座を最後まで受講し続けた学生が合格を勝ち取っています。毎年、4月20日頃に講座の説明会を行っております。お子様が公務員を目指しておられましたら、参加を勧めてください。

[学生支援センター 就職担当]

「就職活動成功体験インタビュー」～学生からのメッセージ～

就職内定を勝ち取った4回生の皆さんの中から4名の方にお話を伺いました。

氏名
中川 健
学部・学科
環境科学部・環境政策計画学科
内定先
滋賀県（行政職）



志望業界	公務員
説明会参加数	10社
エントリーシート提出数	7社
先輩訪問	0人
面接数	4社
内定数	2社

- 就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？
公務員としてどのような仕事がしたいのかについて明確にすることが大切だと思います。公務員といっても国家公務員や地方公務員とさまざまな職種に分かれています。多くの説明会に参加して、それぞれの職種を理解し、自分のしたいことを明確にして面接に向かうことで内定を勝ち取れると思います。
- 先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。
公務員試験は面接も重要ですが、筆記試験も重要になってきます。国家公務員や広域自治体、政令指定都市を受ける場合の多くが教養試験に加え、専門試験も必要になります。科目数も多くなるので、毎日コツコツと勉強をするのいいと思います。努力が結果に表れる試験だと思うので、頑張ってください。
- 家族へのメッセージをお願いします。
公務員試験を乗り切るために家族の支えはとても助かりました。様々な職種があり、進路を選ぶ際にとても悩みましたが、そこで、家族にたくさん相談してどこに就職するかを考えました。また、東京に説明会や面接に行くことも多々ありましたが、そういった時にも金銭的に支えてもらいました。ありがとうございました。

氏名
中島 正兵
学部・学科
工学部・機械システム工学科
内定先
ダイキン工業株式会社



志望業界	メーカー
説明会参加数	9社
エントリーシート提出数	11社
先輩訪問	0人
面接数	4社
内定数	1社

- 就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？
一番大切なのはやはり面接だと感じたので、面接内で自分はどのような人間なのか、企業に対してどういう貢献が出来るのかなどを自分の体験談をもとにして話すと思う。あとは適切な声の大きさとハキハキ話して、しっかり質問に答えることが出来たら大丈夫だと思う。
- 先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。
まずは自分のやりたいことの軸を持つことが大事だと思う。その軸を基準に合同説明会等へ参加し、自分に合った企業を選ぶのが良いと思う。行きたい企業が決まっている人は、その企業のことを徹底的に調べて、面接で企業への熱意をぶつけるのが良いと思う。
- 家族へのメッセージをお願いします。
就活の期間は心配やったと思うけど、その心配をあまり表に出さずに見守ってくれたのは本当に楽でした。社会に出たらちょっとずつでも恩返ししていこうと思います。ありがとうございました！

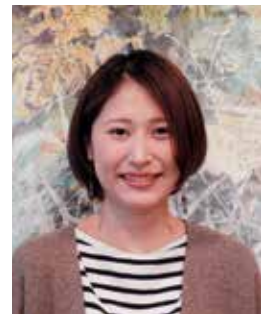
氏名
福山 未菜子
学部・学科
人間文化学部・生活デザイン学科
内定先
鹿島建設株式会社



志望業界	建設業
説明会参加数	8社
エントリーシート提出数	5社
先輩訪問	0人
面接数	4社
内定数	2社

- 就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？
自分が1番何をしたいのか、1番の夢は何か、学生生活で何を頑張ってきたか、常に芯を持っておくことが大切だと思います。面接やESで、様々なことを聞かれましたが、その芯に自信を持つことでどんな質問にも対応でき、自分の自信に繋がると身を持って経験したからです。
- 先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。
会社説明会やインターンシップには積極的に参加するべきです。会社の雰囲気や人柄を知ることができます。また、後に会社を選ぶ選考基準になったり、面接などで経験談として説得力を持って話すことができるからです。あと、SPIはしっかりと勉強することをおすすめします。
- 家族へのメッセージをお願いします。
大学生活は、好きなことを存分させてくれてありがとう。就職活動の時は何も言わず、実家に帰った時に美味しいご飯を作ってくれて、私の話を聞いてくれてありがとう。第一志望に落ちた時、家族総出で慰めてくれてありがとう。これから少しずつ恩返ししていきます。

氏名
横江 はるな
学部・学科
人間看護学部 人間看護学科
内定先
大津赤十字病院



志望業界	医療
説明会参加数	3社
エントリーシート提出数	1社
先輩訪問	0人
面接数	1社
内定数	1社

- 就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いますか？
人気の病院は第一回・第二回の募集で締め切ることがあるため、早めにエントリーすることが大切だと思います。面接では実習での学びや体験等を質問されることが多いため、そのことを意識しながら各論実習に臨むと良いと思います。
- 先輩の皆さんへ就活のアドバイスをお願いします。
看護は授業カリキュラムが多忙なため、実習が始まる前に学内で開催される病院の合同説明会に参加することをお勧めします。またインターンは実習の合間などの隙間時間を活用するといいです。人気の病院のインターンは早期に締め切ることがあるため、情報を確認して早めに応募しましょう。
- 家族へのメッセージをお願いします。
看護の就活は他学部の学生と比べて比較的的内定を頂きやすいです。しかし3回生では半年間の各論実習があるため、実習と就活の同時進行となります。実習に集中するあまり就活を忘れがちになるので、ご家族から声かけをお願いします。

施設整備等助成事業

後援会では学生や大学の要望に応じ、毎年施設整備等に様々な助成をしています。今年度助成しました主な事業をご紹介します。

●学生ホール用椅子の増設

学生ホールの椅子を一部新しく購入しました。以前のものは木製で重く、移動や重ねることが大変でした。学生のライブなど様々なイベントが開催されることから、軽くて重ねやすく、長時間座っていても疲れにくい椅子を60脚購入しました。



学生ホールの椅子

●印刷機の買い替え

学生ホールには、課外活動団体の学生たちが使用できる印刷機が2台設置してあります。4月の入学式が近くなると、各クラブの勧誘のためにチラシの大量印刷で2台の印刷機はフル稼働になり、夏や秋の湖風祭の時期にも多くの書類やチラシの印刷に活用されます。経年劣化で、排紙トレイはテープで補強され、紙つまりなどを頻繁に起こしていたこともあり、昨年7月の学生懇談会での学生からの要望を機に、今回新しく買い替えました。



印刷機

●野球場ベースの取替え

大学開学以来、使用されてきた野球場のベースがかなり傷んでおり、硬式・軟式野球部より交換の要望がありました。現状はかなりひどい状態であり、今回取替え工事を行いました。

カフェプロジェクト

12月に学生ホールで「カフェプロジェクト」と題して、挽きたてコーヒーとお菓子を50円で提供するイベントが開催されました。このイベントは、空き講義室の照明の消し忘れの防止や空き時間に少人数で教室を利用せず共有のスペースを利用してもらうことを周知する目的があります。学生ホールにはポインセチアやシクラメンなどクリスマス気分を盛り上げるグリーンを置き、お昼休みに「癒しのカフェコンサート」と題してアカペラサークルのTRI TONE(トリトン)の皆さんと吹奏楽部の皆さんに演奏をしていただきました。

これからも定期的開催されるこのイベントで、学生ホールがさらに魅力のあるスペースになっていくよう後援会も協力していきます。



TRI TONEのステージ



吹奏楽部のステージ



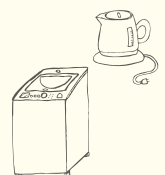
リサイクル市開催のお知らせ

環境系サークル「LEAFS(リーフス)」による、リサイクル市が開催されます。



日時	3月25日(月)12時20分より
場所	滋賀県立大学 交流センター
取扱品	家具：カラーボックス・机・イス・ベッド等 家電：冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・ 照明・トースター・炊飯器等 その他：食器、雑貨など

卒業する学生の下宿等で不要になった生活用品を中心に安価にて販売します。詳しくはLEAFSのホームページをご覧ください。



リーフス リサイクル市

検索

「大会出場激励金授与式」

後援会では、予選を通過して関西や全国規模の大会に出場する学生に大会出場激励金を授与しています。今年度は、12月までに5団体40名が倉茂理事より激励金を授与されました。

囲碁

「第60回全日本女流アマチュア囲碁選手権大会」出場
八木菜月さん



航空研究会UAfg

「第41回鳥人間コンテスト2018」出場



陸上競技部

「第86回近畿陸上競技選手権大会」出場

- 男子3000m障害
山口晟司さん
- 男子砲丸投げ
岩口雄輝さん
- 男子ハンマー投
神谷一貴さん
- 女子100mハードル
藤林悠希さん
- 女子800m
西田朱里さん
- 女子4x400mリレー
藤林悠希さん、松岡可純さん、西田朱里さん、齊藤秀香さん



ウインドサーフィン部

「2017年度全日本学生ボードセーリング選手権」大学対抗戦 3位入賞

「第36回伊勢湾カップ2018」出場

宮澤証太さん、伊藤大智さん、平野健太さん、三田村聡太さん、徳田龍司さん

「2018年度全日本学生

ボードセーリング選手権(インカレ)」出場

宮澤証太さん、不破有理子さん、伊藤大智さん、平野健太さん、徳田龍司さん



水泳部

「第65回全国国公立大学選手権水泳競技大会」出場

- 50m自由形、100m背泳ぎ
岩井柊太さん



LOOK!



不破有理子さん



◀インカレ表彰式
(左から2人目)



- 「2018琵琶湖マリンカップレディース」優勝
- 「2018年度JUBF National Team 選考会 レディース」優勝
- 「T293 World Championship 2018 レディース」2位入賞
- 「2018年度全日本学生ボードセーリング選手権レディース」2位入賞

ウインドサーフィンの数々の大会で活躍されている不破さんは、テクニックだけでなく、天性のセンスや勝負強さも併せ持っておられます。不破さんの今後ますますの活躍を期待しています!



事務局からのお知らせ

「はっさか 48号に寄せて」
3月に退任される役員各位からのメッセージを掲載します。

後援会役員に就任してから、あっという間の4年間でした。後援会運営では、みなさんのご協力によって大きな問題もなく進めることができ大変感謝しております。私自身、初めてのことで緊張することばかりでしたが、子供の大学生活に少しかかわることができ、貴重な経験になりました。また、先生方や事務局の皆様、保護者の皆様との交流も深めることができ、嬉しく思っています。これからも後援会の活動を通じて、子供たちの大学生活をサポートいただけるようお願いいたします。本当にありがとうございました。



中田 昭

入学前の理事就任依頼の電話、「土曜日の午後には仕事されていて大変だなあ。」と、軽い気持ちで引き受けてから4年。就任して学生懇談会で大学生活やクラブ活動の話聞く機会や湖風祭の見学など大変貴重な経験をさせていただきました。また、開学以来この後援会活動がどれだけ多く大学の支援に貢献してきたかを感じました。それは日頃より支えていただいている事務局のみなさんのおかげであり、感謝申し上げますとともに、今後も大学と後援会がますます発展されることを祈念します。

北村 早千乃

後援会理事をさせていただいたことにより、学生や事務局の方々から、大学の現状や課題について、直接、お話を聞くことができ、県立大学をより身近に感じることができました。

年4回の理事会では、助成事業について検討されますが、どのように学生をサポートすれば、本当に彼らのためになるのかについて、様々な意見が交わされました。私自身も大変、勉強になりました。これからも県大生の良き後援会として、ご活躍を期待しております。



宮村 敦子

平成最後の年に末娘の卒業を迎え、私にとりましても子育ての一区切りとなります。湖岸道路を走ると見えてくるえんぴつ塔はとても身近な存在になりました。理事会に参加する度に如何に平等に支援が出来るか?少しでも有意義なサポートを…と、後援会事務局の方がよく学生たちの日常を見守って頂いている事を知りました。この4年間私も娘も多くの事を学ばせて頂きありがとうございました。県立大学の益々の発展と学生たちの活躍をお祈りいたします。

磯野 すなを

春の学校行事のご案内

■2018年度 学位記授与式

日 時: 2019年3月21日(木・祝)

第1部 大学院学位記授与式
午前9時~9時30分第2部 学部学位記授与式
午前10時45分~(11時30分)
学生表彰(11時30分)~11時50分場 所: 滋賀県立大学
交流センターホール

■2019年度 入学式

日 時: 2019年4月4日(木)
午前10時開式

場 所: ひこね市文化プラザ

■2019年度 後援会総会

日 時: 2019年4月4日(木)
午前11時15分開会

※入学式後、同会場にて開催予定



後援会ホームページのご案内

後援会の事業内容や会報「はっさか」のバックナンバー、お知らせや大学の様子を伝えるトピックなどをご覧いただけます。是非、一度アクセスしてください。



滋賀県立大学後援会

検索

<http://www.usp-koenkai.jp>

NEWS

滋賀県立大学が
Instagramを始めました!

公式Instagramページを開設しました。是非ご覧ください。

[アカウント]

@univ_shigapref

[URL]

https://www.instagram.com/univ_shigapref/

UNIV.SHIGAPREF

携帯電話から
簡単アクセス!
スキャンして、
公式インスタをチェック!